

城北まちづくり通信

2021/11/24
25号

城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

ワクチンを打っても、抗体量には個人差があります。

現在、新型コロナウイルス感染者数が全国で激減しています。検査数が不十分だった昨年6月頃の小康状態の数値以下にまで下がろうとしています。

その要因について、先日(11月10日)「城北ふらっとサロン」演題：コロナ感染に備えて)講師を務められた木下敬一郎氏(鳥取赤十字病院 中央検査部検査課長)に、質問させていただきました。

返ってきたこたえは、推測の域を出ませんがとことわられた上で次のように話されました。*要旨は以下の内容

- ワクチン接種が進んだことで、症状が出ないの
で医療施設を受診(検査)する患者が減ったこと。
- 感染者数にポイントされない多数の感染者(不
顕性感染者・軽症感染者)が想定されること。
- これまで通りの感染予防をとることが重要。



講演内容で、特に興味深かったのは、「ワクチンを打ったから、安全だとはい
えません。抗体の量には個人差があります。」ということでした。複数のワクチ
ン接種者の抗体量を、週単位で独自に長期間にわたって追跡測定した研究成果
を示して解説されました。関心の高いテーマでもあり、熱く語る講師にいつ
の間にか引き込まれ、2時間の講演があっという間に終わりました。

今回の講演会は、行政分野コーディネーター(吉野さん)・“学びを活かしたまち
づくり”を推進する公民館・城北ふらっとサロンの三者で話し合い、実現しまし
た。要望があれば、時・場所等を替えて再度開催したいとも考えています。

「そばの収穫体験(日置地区交流)」

11月6日に、そばの収穫に出かけま
した。7月に、高さ10cm、幅1mほどの畝
を立て、列の間隔を50cmほどとって筋蒔
きしたそばの種です。種をまいてから3
ヶ月。一番上の花の実が、80%程度黒く
なったものを、根元から切って収穫しま
した。収穫後は、雨に当てないように逆
さに吊るして天日干しにし、7~10日ほ
どかけて十分に乾燥させるのだそうで
す。(文化・交流部会：日下部部長)



「まちづくり日南ツアー」(総務部会：木村部長)

11月15日。「日野町オシドリ(愛護)グ
ループ」で、27年間ボランティアとして
活動してこられた森田順子さんに「元気」
をいただきました。

1987年から、日野川に飛来するオシドリ
に1人で給餌をしていた池岡さんの活動を
知り、オシドリを通して自然保護の大切さ
を伝え、地域に交流の輪を広げようとグル
ープを発足させたそうです。活動は、手作
りの観察小屋を拠点に、観察者への説明案
内、毎夕の餌まき、川の掃除、植樹等、多
岐にわたります。資料館に掲げられた『鴛
鴦呈祥』(オシドリが喜びや、めでたいこと、幸をかもしだす)という言
葉の意味も教えて
いただきました
た。ボランティ
アの原点に触れ
るツアーとな
りました。



まちづくりSDGs企画

日置地区の農家の協力で、「ブロッコリー」を販売します。

■日時：11月26日(金) 9:00頃から

■場所：城北地区公民館 *80袋限定 【1袋：100円】